

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
榎囃子連育成会	囃子保存・指導者育成事業	お囃子に携わる若い世代の指導者(後継者)を育て、地域の文化・伝統を次世代へ残すこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・新興住宅地で伝統文化等がなく、子ども達のふる里と言えるものがなかった自治会に、次世代の子ども達に「ふる里」をと囃子を始めたが、笛をふけるただ1人が高齢化している、又、少子化等により子どもの参加も少なくなり、存続の危機となつている。今回の事業では次世代への伝統継承のため、高校生・大学生等を指導者として育成することに着手した。 ・従来のジーンズ・Tシャツから自覚を持たせるため、指導者用衣装を用意し、指導者になる意識を持たせたりした。又、講師を招いて技術習得したり、歴史等の勉強会も実施した。半纏のなかった小学生にも囃子連独自の半纏等を用意できて存続の危機回避へ一歩前進できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年目となり、青年指導者6人は練習に積極的に参加するようになった。(指導員として、又伝統を伝える者であると自覚を持ってくれた。) ・今年は小学生の衣装も揃えられ、頑張っ続けていたいと励みになった。 ・小学生が4人も入ってくれた。 ・横山地区自治会内行事にも、積極的に参加したが、今年は「横山子どもセンター」の祭りに参加でき、参加者もお囃子の子ども達も喜んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者用衣装を揃えたり環境を整えたことで、後継者・指導者としての自覚やを持ってもらえて良かった。 ・小学生も、お囃子として衣装を揃えたことで、練習に頑張った結果と、励みになった。 ・笛の演奏後継者と、獅子舞の後継者ができ、存続できそうになった 	H23.6.30	444,000
男性ボランティア横山ゼロツウ／テン	高齢者等見守りパトロール事業	横山地区に居住する独居高齢者等を含めた住民が、安心して生活できる福祉社会を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を地域ぐるみで支援する地域見守り体制を充実するため、高齢者との接し方の学習を目的としたゼロツウテン主催の「講演会」を企画し、地域の福祉活動団体、自治会等に呼びかけチラシを配布。 ・高齢者見守り【地域みんなで環境づくりと上手な接し方】を開催し、70名の地域住民・地域福祉団体関係者が参加した。 ・他の地域団体と連携して、見守り活動・パトロールを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多数の福祉関係団体、地域住民が、高齢者見守り活動の必要性和地域全体での高齢者見守り体制構築への関心度を深め、誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくりの必要性の輪を広げることができた。 ・本事業を通して体験・習得した高齢者見守りに関する知識を集約したガイドブックを作成し、ボランティア団体、福祉関係団体等に配布し、大いに活動の参考にしていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会には多数の住民に参加していただき、地域全体の高齢者見守り体制構築の必要性を訴えることができ、ゼロツウテンが目指している所期の目的を果たすことができた。また、ガイドブックの作成は、他のボランティア団体の高齢者見守り活動に必ずや役に立つの確信している。 	H23.8.25	155,000
ボランティア 絆	高齢者ふれあいいいきサロン見守りボランティア事業	障害等のある方々など、サロンに参加できない方々が、サロンという地域コミュニティの中に参加できるよう必要な支援を行い、誰もが健康で明るい日常生活を送ることが出来る環境づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・引きこもりや独り暮らしの初期認知、その他障害を持つ方々が参加出来るサロンを開設し、付き添い送迎支援することで参加可能となつて、地域活性化となつた。 ・講演会を地域全体に呼び掛け実施した。ボランティアも自己研修をしたが、地域の方にも参加してもらえて活動への理解が深まった。 ○独居の初期認知症の方等のサロン開催(11月～3月火曜会、金曜会 計233名参加) ○主に引きこもりの方のサロン開催(11月～3月土曜会 計70名参加) ○立ち上げ準備・打合せ・資料作成・総会準備・講演会準備等(7/12～3/21 延べ72名参加) ○「ボランティア絆」設立総会 12/10 36名参加、講演会「住民流助け合い起こし」3/24 67名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・引きこもりや独り暮らしの初期認知、その他障害を持つ方々が参加できるサロンを開設し、開催場所まで付き添い送迎支援することで参加可能にした。 ・サロンに参加することで外に出られたり、笑顔でいる時間が長くなったという声を聞くことができた。 ・講師を招いて講演会を一般公開としたため、ボランティアも自己研鑽できたが、地域の方も多数参加して良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常サロンに参加できない方々への支援をすることにより、地域コミュニティの中に入れ明るい日常生活を送る手助けができた。 ・ご家族から笑顔で居る時間が長くなったし、身綺麗になったと喜ばれた。 ・講演会の一般参加者が活動を理解して、活動しやすくなった。 	H23.10.31	492,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
横山地区防犯・防災啓発事業推進委員会	横山地区防犯・防災啓発事業	地区住民が災害や犯罪に対する日ごろの備えを充分にさせていただくことで、安全に安心して暮らせる地域づくりに貢献する。	横山公民館まつりにおいて「防犯・防災ブース」を出店し、啓発事業を実施 (内容) ・防犯ブース:防犯に関する啓発ビデオの上映、防犯グッズの配布、安全・安心マップの展示 ・防災ブース:手作りランプの製作体験、防災クイズ、非常食の試食、被災地写真の展示 ・参加者 190名	・横山公民館まつりにおいて防犯・防災ブースを出店し、地区住民に対して防犯や防災に対する意識を高めていただくよう呼びかけた。東日本大震災の発生以降、特に防災への関心が高まっているが、本事業で防災に関する知識等を提供できたことは、安全・安心のまちづくりへの一助となったものと考えている。	・安全で安心して暮らせる横山地区をつくるための取り組みの一つとして実施したが、多くの来場者にブースに立ち寄っていただき、参加していただけた。 ・防犯、防災に関しては年代を問わず高い関心を感じていたが、ブースにおける啓発事業は来場者のニーズに応えることができたものと考えている。	H24.2.16	401,000
横山地区自治会連合会	横山地区まちづくり広報発行事業	横山地区自治会連合会の活動に関する情報や、その他、地区のまちづくりに関わる情報などを広く地区住民に広報することで、地区の活動を知っていただき、興味を持っていただき、その結果として、これまで参加機会の少なかった人たちが公共的な活動へ参加し、こうしたことを通して、地域が活性化することを目的とする。	・横山地区まちづくり情報紙-「まちづくりYOKOYAMA」発行に関する打ち合わせ会議を2回開催した。 ・「まちづくりYOKOYAMA」3月1日、4月1日号の2回発行した。	・横山地区のまちづくり全般に関する情報を取りまとめ、全戸配布することにより、広く地区住民に横山地区どのような取り組みが進められているのかについて周知することができた。 ・今年度は特に安全・安心の取り組みを重点的に取り上げたので、地区全体に対する防災・防犯の啓発にもつながった。	・横山地区自治会連合会としての大きなテーマの一つに活動の担い手の発掘があげられる。そのため的手段として本事業は重要であると考えている。 ・地道に粘り強く情報を発信していくことが重要で、本事業は地区のまちづくりにとって重要な取り組みであると評価できる。	H24.2.16	256,000
ボランティア横山	児童の下校時における付き添いボランティア事業	地区内の不登校の児童をなくすこと。	・11月～3月の付添い回数(合計) Aさん 17回、Bさん 34回 ・会員の参加人数 延べ 124名	・それぞれの理由で、登校拒否・不登校になっていた児童2人が、迎えのある日は、休まず登校できたことが、まずは一番の成果であった。Aさんは迎えのある日を楽しみにするようになってくれた。Bさんは、自分たちが迎えに行き、付き添うことで、安心して下校してもらえたと思う。	・地区のこどもが、学校へ通えず不登校になっていたのが、私たちがお手伝いすることで、休まず通えるようになった。親にとっても感謝され、大変良かった。	H24.2.23	101,000

